

おぎくぼようすいせんさく 荻窪用水散策コース



歩いて、未病を改善！
神奈川県・県西地域ウォーキング 小田原市 No.07

「#県西ウォーキング」でSNSに
写真や感想をアップしよう♪

江戸時代に箱根湯本から引かれた「荻窪用水」の流れをたどる



アクセス

Sスタート 箱根登山鉄道「風祭駅」
*JR東海道線・小田急線他「小田原駅」で乗換え

Gゴール JR東海道線・小田急線他「小田原駅」

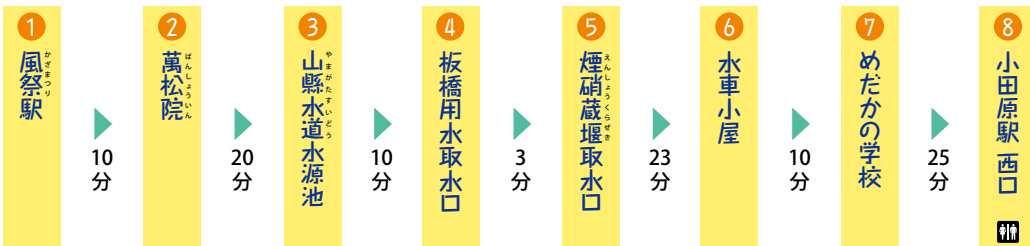
※コース詳細は小田原市ホームページをご参照ください。
<http://www.city.odawara.kanagawa.jp/kanko/walking>

歩行距離	歩行時間	消費カロリー
5.7km	1時間41分	317kcal
高低差	歩数	
88.5m	7,451歩	

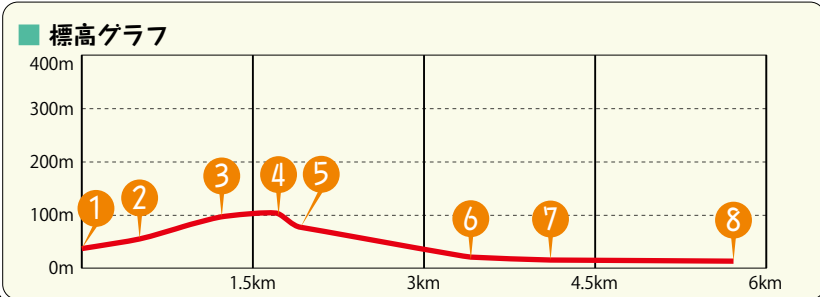
コースの魅力

【歴史】萬松院、山縣水道水源池、めだかの学校、水車小屋、日透上人の墓

【★選】荻窪用水（疏水百選）



用水のお勉強に
ぴったりの
コースだよ!



コースの概要

荻窪用水は江戸時代（工事開始は1797年（寛政9年））に小田原藩の水田事業として開かれました。箱根町塔之沢付近で早川の水をせき止め、そこから山間を抜け、荻窪へとつながる全長10.3kmの用水路です。今回はその途中、風祭駅付近から用水のルート进行をたどり、用水工事にかかわった人々の偉業を知り、水、土、里の大切さを考えるコースです。

用水路は人々の暮らしとともに

荻窪用水

水不足で水田の少なかった荻窪村の新田開発のため、小田原藩によりつくられました。現在も箱根町湯本から小田原市荻窪までの間を流れ、「疏水百選」や「日本土木学会推奨土木遺産」にも認定されています。貴重な歴史遺産として見直され、ガイドブックの発行や用水を訪ねるイベントなど、人々に親しまれています。



水車小屋

明治13年（1880年）には、荻窪用水を利用した水車小屋は19軒ありましたが、現存するのはここだけです。昔は米つきを行っていたといわれています。



めだかの学校

童謡「めだかの学校」は、童話作家・茶木滋の作詞です。昭和25年（1950年）にNHKから依頼を受けて、息子と芋の買い出しの途中、荻窪の小川付近で交わした会話を基に作られたといわれています。



※歩行距離、高低差、標高グラフは、国土地理院の地図データを参照。歩行時間、消費カロリー、歩数は、「成人男性：身長170cm、体重68kg」をモデルに計算。（元となる標高データの精度や計算方法による誤差が含まれています）。※各数値は、あくまで目安であり、年齢や体格、歩くスピードなどにより大きく変わることがあります。

※掲載情報は、令和5年2月現在のものです。



ウォーキング MAP



2 萬松院
自決した徳川家康嫡子・松平信康を供養するために建立された寺院です。



3 山縣水道水源池
明治の元勳・山縣有朋が老後を過ごした別荘「古稀庵」のために作った水道施設の水源地です。



鈴廣 かまぼこの里
「買う・食べる・遊ぶ」をテーマに、和の食文化を、観て、触れて味わえます。
【住】小田原市風祭245 【電】0465-22-3191
【入】無料(かまぼこ・ちくわ手づくり体験教室等有料、要予約)
【休】元日、臨時休業有
【HP】<http://www.kamaboko.com/sato>

薬膳スイーツが食べられます！
これが薬膳？と思うような、おいしいスイーツ。ぜひ、施設内「汐風カフェ」にお立ち寄りください！
※詳しくは、施設にお問い合わせください。
薬膳スイーツ(イメージ)

ジオサイトって？
箱根火山を中心とした地域の自然や歴史、文化、食などを大地とのつながりで楽しむ「箱根ジオパーク」の見どころです。

ルールとアドバイス
1 ゴミは必ず持ち帰りましょう
2 植物・鳥・動物・虫などの採取・捕獲は絶対にやめましょう
3 自分に合った歩きやすい靴をはきましょう
4 水分の補給をこまめにしましょう

コラム 知っているとは10倍楽しい！「荻窪用水」の歴史

江戸時代の小田原では新田開発が盛んに行われ、多くの用水路がつくられました。歴史的土木構造物として土木遺産にも認定された「荻窪用水」の歴史とポイントをご紹介します。

当時の小田原藩は？…



天明の地震や飢饉により、小田原藩の財政は困窮していました。名君といわれた第七代小田原藩主・大久保忠真は、年貢米を増やそうと荻窪用水を造ったのです。その頃、小田原藩では、藩校「集成館」を開

設し、身分の低い者でも育成するなど、藩政改革を行っていました。二宮金次郎(のちの尊徳)が登用されたのもこの頃です。

その頃の荻窪村は？



用水路ができる前の村は、「荻窪の芋食いには娘は嫁にやれぬ」などと言われるほど、水不足で米が作れない土地でした。

荻窪用水と川口廣蔵



荻窪用水の工事で活躍した人物として、川口廣蔵の名が知られています。荻窪では感

謝をこめて、今でもお彼岸に代表者が山北町にある廣蔵の墓にお参りしています。

